

平成18年度 予算の使いみち

平成18年度 予算の 使いみち

予算特別委員会の質疑の一部を要約してお知らせします。



税の収納率の向上に力を入れます

税金徴収率の向上策は

問 町民個人税が前年度より伸び、固定資産税が大幅に減額した原因を伺います。

答 定率減税の削減、配偶者均等割の非課税廃止、老年者控除の廃止などで個人税が伸びています。固定資産税は、資産の評価替えと、住宅の新築などが見込めず減額したものです。

協働のまちづくりは

問 協働のまちづくり推進事業の内容を伺います。

答 地域で行う道路修繕など、資材提供などを行います。また、審議会への公募枠の設置や、自治会活動の支援を推進し、住民のまちづくりへの参画機会の拡充をめざします。

地域担当職員制度は

問 地域担当職員の役割を伺います。

答 行政と地域の取り次ぎ役として、各地域の課題を把握して町に伝える役割を担います。



農林業の振興で町の発展を

答 守山乳業葛巻工場の拡張工事に対し、2億円の貸し付けを行います。本格的な開業は5月の予定で、新たに12人の地元雇を見込んでいます。

農林業の取り組みは

問 新年度の農林業の振興策を伺います。

答 若い農業後継者のための基盤整備に力を入れます。また、新しい寄附条例を活用し、環境保全の観点からも林業を振興します。

財産収入の内容は

問 財産収入1千万円を見込んでいますが、内容を伺います。

答 畜産開発公社に貸し付けている町有地の売却を検討しています。また、町有の畑や原野、宅地、旧学校用地なども調査し、売却を検討します。

高規格救急車の購入は

問 高規格救急自動車の購入を予定していますが、詳しい内容を伺います。

小谷地 喜代治 議員

私は、平成18年度一般会計予算及び6件の特別会計予算に、賛成の立場から討論します。

まず、町長が唱える「町が持つ多面的な資源を最大限に活かしたまちづくり」の実践が各方面から評価され、17年度の資源エネルギー賞及び畜産開発公社の畜産大賞受賞などに結びついたものと拝察しています。

しかし、地方自治体を取り巻く環境は、国の三位一体改革に伴う地方交付税の大幅削減や補助金の廃止により、厳しさは増すばかりです。特に財政力の弱い自治体への影響は大きく、町長が主張するとおり「自立に耐えつる持続可能なまちづくりを目指す」ことが最大の課題です。

一般会計では、公共施設の指定管理者制度を導入し、自治会、公的団体、第3セクター等の役割が増し、新たなまちづくりのスタートと感したところです。

また、財源確保として、財産処分基金の有効活用及び寄附金条

賛成 討論

さらに、守山乳業葛巻工場拡張工事の支援、畜産担い手育成総合整備事業、団体営畜産環境整備事業、森林整備地域活動支援など、産業振興とともに雇用確保に重点が置かれています。

特別会計では、西部簡易水道の統合整備事業の本格着工で生活環境の改善が図られ、病院会計でも、第5次健全化計画がおおむね順調に推移し、評価するものです。財産区会計は、新年度中に解散し財政の健全化を図る考えであり、事務の円滑な推進を望むものです。

以上の理由から、各会計の予算案に賛成するものです。

児童の安全確保は

問 児童の安全確保策として委嘱するスクールガードリーダーの役割を伺います。

答 小学校を巡回しての安全指導や講習会、スクールマップの作成などを行います。地域と連携し、登下校時の児童の安全確保を図ります。

水道料の引き上げは

問 水道使用料の収入が減額になった原因と、今後の料金の引き上げを伺います。

答 人口の減少と、節水によるものです。使用料は平成17年度に引き上げており、5年間は据え置きますが、その後は検討が必要と見られます。

財産区の町有林化は

問 財産区の町有林化について、一般会計に影響しますか。



登下校時の安全確保を図ります

病院経営の目標は

問 第5次病院経営改善計画の最終年度ですが、経営目標を伺います。

答 単年度収支の均衡、不良債務の解消、財源負担区分の明確化を柱として経営します。

また、県の医師の派遣期間が終了するので、医師確保に努めます。